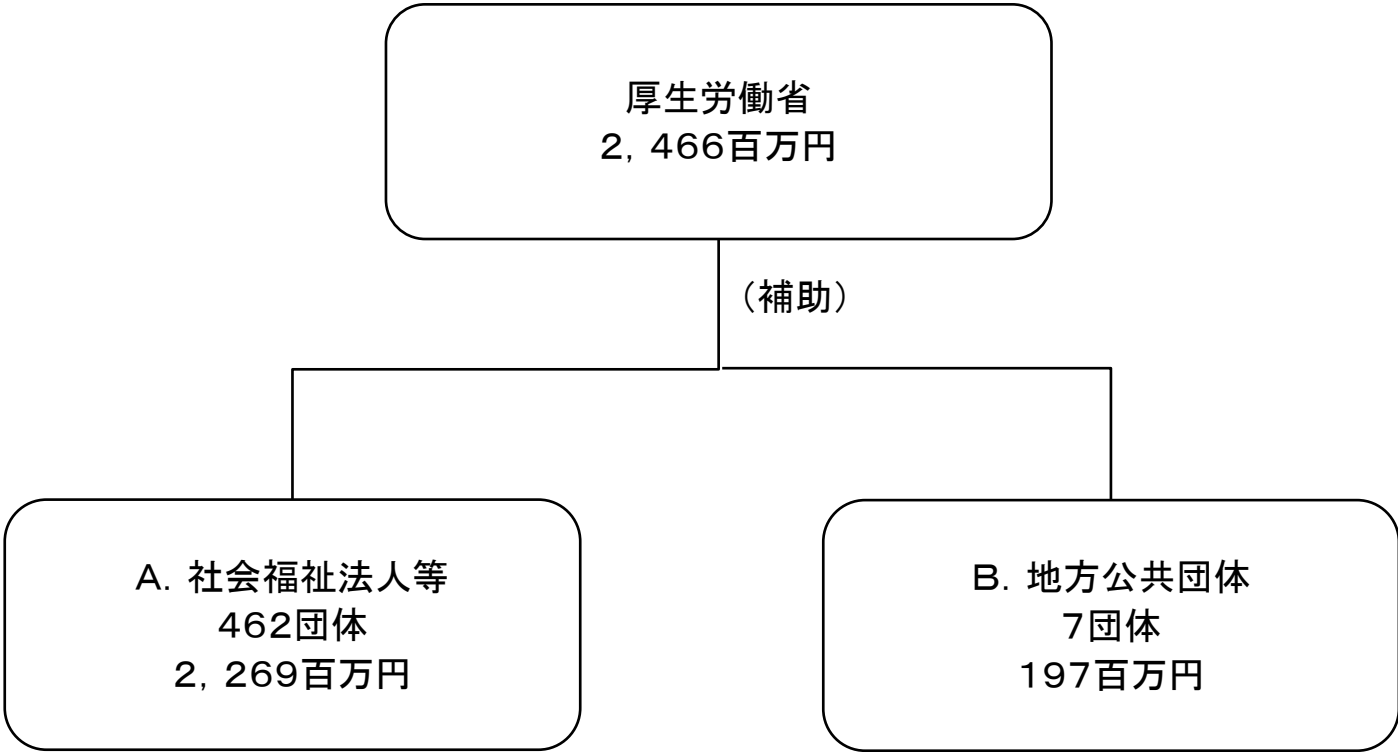


事業番号										961	
平成25年行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名		社会福祉施設等災害復旧費補助金 （（項）介護保険制度運営推進費）			担当部局庁		老健局			作成責任者	
事業開始・ 終了（予定）年度		—			担当課室		高齢者支援課			高齢者支援課長 高橋 謙司	
会計区分		一般会計			政策・施策名		—				
根拠法令 （具体的な 条項も記載）		—			関係する計画、 通知等		社会福祉施設等災害復旧費の国庫補助について（平成24年11月19日厚生労働省発社援1119第3号厚生労働事務次官通知）				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		東日本大震災で被災した社会福祉施設等の復旧に要する費用について財政支援を行う。									
事業概要 （5行程度以内。別添可）		別添のとおり。 ※予算計上所管の変更により当該事業は平成24年度限りで廃止し、平成25年度以降は復興庁計上事業として実施しているものである。 （事業名：社会福祉施設等災害復旧費補助金（復興関連事業）、事業番号：〇〇）									
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・ 執行額 （単位：百万円）				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算					0			
			補正予算		57,477						
			繰越し等	401	△ 33,309	29,350	4,064				
			計	401	24,167	29,350	4,064	0			
		執行額		18	3,624	2,466					
		執行率（％）		4.5%	15.0%	8.4%					
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 （年度）	
		なし。 （災害発生は予測できないため目標設定は不可）			成果実績						
					達成度	％					
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
		復旧施設数			活動実績 （当初見込み）	施設	10 （ — ）	782 （ — ）	469 （ — ）	— （ — ）	
単位当たり コスト		5,258千円 （ 2,466百万円／469施設 ）			算出根拠	執行額を、復旧施設数で除して算出。					
平成25・26年度 予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	災害復旧費		0	0							
計		0	0								

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	災害により被災した社会福祉施設等の復旧に要する費用について助成を行うものであり、被災地の復興を支援している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	被災地の負担を軽減するため、国が助成を行う必要がある。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—	被災した施設の被害状況により異なるため、単位当たりコストの水準の妥当性については、一概に判断できない。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	被災した社会福祉施設等の災害復旧事業に要する必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			○	津波の被害が甚大であった沿岸部の全半壊施設や原発警戒区域内の施設で移転先が決まらず、平成24年度に着工することが困難な施設が存在すること、また介護施設の復旧は地域の復興まちづくりの中で実施されるものであるが、被災自治体において復興に時間がかかっており、復興計画の策定が遅れていること等により、未だ復旧・復興の見込みが立ってない施設が多いためである。	
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	被災した社会福祉施設の復旧に必要な事業であり、被災状況に応じ、適切に執行して参りたい。 また、活動実績である復旧施設数については、23年度で大幅に増加し、24年度は減少しているが、復旧が必要な施設数に応じた適切な予算規模となっている。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	—					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年	918	平成24年	954

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A.仮設櫓葉ときわ苑			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	災害復旧費	401			
計		401	計		0
B.富岡町			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	災害復旧費	180			
計		180	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	仮設檜葉ときわ苑	災害復旧	401		
2	富岡町立仮設養護老人ホーム 東風荘(仮設)	災害復旧	180		
3	鳥の海荘	災害復旧	124		
4	老人保健施設リバーサイド 春圃(仮設)	災害復旧	67		
5	グループホームきたかみ	災害復旧	43		
6	特別養護老人ホーム 雄心苑	災害復旧	23		
7	グループホーム村伝さいち	災害復旧	21		
8	森の家ひらす	災害復旧	12		
9	愛寿園	災害復旧	12		
10	特別養護老人ホーム きたかみ	災害復旧	8		

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富岡町	災害復旧	180		
2	矢吹町	災害復旧	4		
3	気仙沼市	災害復旧	3		
4	南相馬市	災害復旧	3		
5	浦安市	災害復旧	3		
6	香取市	災害復旧	3		
7	青森県	災害復旧	1		
8					
9					
10					